

船舶事故等調査報告書

平成24年7月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012広第27号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成24年1月27日 16時30分ごろ	
発生場所	岡山県岡山市岡山港 岡山港西防波堤灯台から真方位064°250m付近 (概位 北緯34°35.8' 東経133°57.4')	
事故等調査の経過	平成24年2月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 第三芸安丸^{げいあん}、199トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 133483、ニュー坂井海運株式会社</p>	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	左舷船底部に擦過傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、船首約1.2m、船尾約2.8mの喫水で岡山港で出港作業中、平成24年1月27日16時30分ごろ、西の風により圧流され、船底が浅所に乗り揚げた。	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 西、風速 約12m/s</p> <p>海象：潮汐 下げ潮の中央期</p>	
その他の事項	船長は、岡山港では何度も入出港の操船をしたことがあった。	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	あり
	判明した事項の解析	本船は、岡山港で出港作業中、船長が風を考慮した操船を行わなかったことから、西風により圧流され、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、岡山港で出港作業中、船長が風を考慮した操船を行わなかったため、西風により圧流され、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狭い港内を出港する場合、風が強いときは、風が弱まるまで、出港を見合わせる。 	